なかがわ 議会だより

No126
2018.10

▶発行/中川町議会　編集/議会広報特別委員会

9月16日　北海道丸太押し相撲大会

主な内容

- 第4回 臨時会
- 第3回 定例会〔一般質問　1氏〕
- 全道町村議会広報研修会
- 議会日誌
- 編集後記

新たな医師確保に向け予算を計上

第4回臨時会を開催　平成30年8月7日招集

山村開発センター解体工事始まる
工期は11月15日まで

第四回臨時会
平成30年8月7日招集

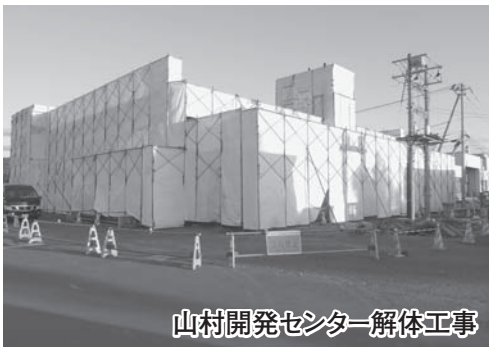
平成30年第４回臨時会は８月７日招集され、会期を１日と決し、議案１件、予算１件を議決し閉会しました。

議案審議結果

【契約】

▼工事請負契約の締結について（平成30年度山村開発センター解体工事）【原案可決】

■契約の目的…平成30年度山村開発センター解体工事
■契約方法…指名競争入札
■契約の金額…８６７２万４千円
■契約の相手方…中川郡中川町字中川４３０番地５　株式会社　佐藤工建　代表取締役　佐藤　正樹


山村開発センター解体工事

【予算】

▼平成30年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ２４５８万円を追加し、予算総額をそれぞれ38億７０７４万８千円としました。【原案可決】

主な補正内容は、診療所医師の招へい及び平成30年災富和３線災害復旧工事に係る費用の追加。

質疑応答

▼平成30年度中川町一般会計予算補正

問　診療所医師招へいに係る事務手数料の詳細は？

答　㈱全国自治体病院協議会に加入し、招へいが成功した場合、81万円の紹介手数料を支払うことになる。

中川診療所

問　医師確保した以降の診療所の来年度４月１日からの運営体制は？

答　新しい医師のもとで10床の一般入院病棟を継承していただき、看護師並びに厨房スタッフ等が揃った体制の中、開業できるようにと考えている。

問　富和３線の災害復旧工事の内容は？

答　被災箇所は２箇所。①国道から２㎞地点で被災延長は33ｍ、護岸ブロック施工の予定　②国道から２・３㎞地点で被災延長は23・８ｍ、護岸ブロック施工の予定。

富和3線被災箇所

災害時作業手数料等の補正予算を可決
教育長　髙橋信行氏（59歳）の任命に同意

第三回定例会
平成30年9月20日招集

平成30年第3回定例会は9月20日招集され、会期を1日とし、1議員の一般質問、同意1件、報告3件、承認2件、議案2件、予算2件、意見書1件、会議規則4件を決議し、認定6件を決算審査特別委員会へ付託し、閉会しました。

議案審議結果

【同意】

▼教育委員会教育長の任命

髙橋　信行　氏

【原案可決】

【報告】

▼専決処分の報告について（工事請負契約の一部変更）

【報告済】

誉36線道路改良工事の工種変更に伴い工事費の減額による一部変更。

▼平成29年度中川町健全化判断比率の報告

【報告済】

平成29年度中川町健全化判断比率は10・6％。早期健全化基準25％を下回りました。

【報告】

▼平成29年度中川町資金不足比率の報告

【報告済】

平成29年度は資金不足が生じなかったため数値なし。経営健全化基準を下回る。

【承認】

▼専決処分の承認について（平成30年度中川町一般会計予算補正）

【原案承認】

■歳入歳出総額に、それぞれ758万1千円を追加し、予算総額をそれぞれ38億7832万9千円とする。

主な補正内容は、9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電対策として生じた災害時作業手数料及び機材借上料の追加。

【承認】

▼専決処分の承認について（平成30年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正）

【原案承認】

■歳入歳出総額に、それぞれ368万1千円を追加し、予算総額をそれぞれ4億1204万6千円とする。

主な補正内容は、9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電対策として生じた中川浄水場機器の故障修繕工事費、アベシナイ浄水場ポンプ故障修繕工事費、中川導水ポンプ場水位計取替工事費の追加。

【条例など】

▼特別職の給与の減額支給に関する条例

【原案可決】

平成30年10月分給与を町長は6万2００円、副町長は2万6１００円をそれぞれ減じた額で支給する。

▼町有財産の無償貸与について

【原案可決】

■無償貸与財産名…土地

■住所…中川町字神路35番地3他3筆

■貸与の相手方…北海道開発局旭川開発建設部名寄河川事務所長　一法師隆充

■地目・面積…牧場22万５０４７㎡

■貸与期間…平成30年10月1日～平成35年9月30日

【予算】

▼平成30年度中川町一般会計予算補正

【原案可決】

■歳入歳出総額に、それぞれ8１０万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ38億８６４３万3千円とする。

主な補正内容は災害時作業手数料及び機材借上料、エコミュージアムセンター案内看板改修工事費などの追加。

▼平成30年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

【原案可決】

■歳入歳出総額に、それぞれ３００万円を追加し、予算総額をそれぞれ4億１５０４万6千円とする。

主な補正内容は中川浄水場非常用発電機分解整備工事費の追加。

誉36線道路改良工事

議会を傍聴しませんか

議会の活性化のために、多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。

今回の地震に伴う停電対策は？
非常用の自家発電機が必要

質疑応答

▼専決処分の承認について（平成30年度中川町一般会計予算補正）

問 北海道胆振東部地震に伴う停電対策の機器借上げは？

答 ちゃいむ～発電機2台、中川浄水場～発電機1台、酪農家の搾乳用～発電機6台。灯光器は全体で6台借上げ。発電機、灯光器等の移動用トラックを借上げた。

問 ちゃいむは避難所として活用されることになるが、非常用発電機の必要性は？また、広報車での周知方法の改善は？

答 ちゃいむは災害時の避難所として非常用の自家発電機が必要であり、設置の検討をしていた。今回は相談所として対応したが、今回の状況を検証し対策する。

広報は停電時にＩＰ電話が使用できない弱点が分かった。今後、ＩＰ告知端末の更新に合わせ、停電時に一定程度の対応できるかどうかを検討している。停電時に車による広報を行ったが、聞こえづらい部分もあったと思うので、反省し今後の対応をしっかり行っていきたい。

問 今回の停電で全てが止まり、ラジオだけが頼りだった。遠別中継局の増補を検討しては？

答 遠別民放ラジオ中継局運営協議会に負担金を出しながら、本年度中に機器を更新する予定になっているが、電波法の関係から現状どおりとなる。

▼専決処分の承認について（平成30年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正）

問 中川浄水場の残留塩素計等3点が通電ショックにより故障したとのことだが、停電時の対応に不備はなかったのか？

答 中川は非常用発電を常設しており、自動切替で稼働した。本機器類は更新時期を控えているが、機器の点検は常に実施しており、停電の2日前にも点検し異常がなかった。いずれにせよ精密機械であり、通電ショックにより何らかの故障が発生したものと考える。

▼町有財産の無償貸付について

問 音威子府バイパスの関連だが本体工事の完成時期は延長されるのか？

答 当初、平成27年度完成予定で工事が開始され、その後平成30年度完成と変更されていたが、その後、完成の目途として正確な完成年度が伝えられていない。

▼平成30年度中川町一般会計予算補正

▼平成30年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

問 中川浄水場非常用発電機の分解整備の詳細は？

答 今回、発電機は自動切替により稼働したが不安定な稼働だった。97年製の発電機で20年が経過しているが、稼働時間は37時間程度であり、分電盤の分解整備を実施する予定。

問 停電対応の中で浮き彫りになった問題点は？

答 今回の対応では重点的に上水道の確保、診療所・介護施設の維持、独居高齢者への対応を行なった。中川・佐久両地区に相談所を開設し、保健師の聞き取りでは高齢者の方も「冷静な対応」を取られていた。相談所では携帯電話の充電等に対応した。充分な対応とならなかったかもしれないが次に生かせるようにしていきたい。

中川浄水場

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件
1　子育て支援施策について
2　防災体制の確立について
3　総務常任委員会に関わる施策について

■期限
平成30年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件
1　産業振興対策の現況と今後の展開について
・農業振興政策について
・有害鳥獣対策について
2　公共施設の今後のあり方について

■期限
平成30年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件
1　本会議の日程等議会の運営に関する事項について

■期限
平成30年4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼議員派遣の件について

平成30年上川町村議会議員研修会

【議員派遣決定】

【意見書】

▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき関係各位に送付。
※意見書の要旨は6ページに記載

問 予算と公共施設の今後の展開は

答 総体予算や優先順位、住民ニーズを見極め総合的に判断

鎌塚一成 議員

平成30年度予算も約半年を経過して、予算時における目論見等について執行状況に目途が付き、今後の行政運営にそれなりの指針を得られつつあろうかと推察しております。

住民生活に安心と期待を寄せる中川町の運営と、その根幹を担うべく保有している公共施設の財政を考慮した運用状況と今後の展開についてお伺いいたします。

◎役場庁舎での業務遂行について、医療・福祉・窓口業務の配置がそれぞれ分断されている事での住民から見た利用具合について。また教育委員会を再度別施設に分断したことによる住民の利用意識についての状況把握とその対象は。

◎不要施設の処理を含め今後の予定について。

＊旧幼児センター施設の処理計画、山村開発センター跡地利用と排雪広場の設定

＊ポンピラ温泉の改修またはスポーツ施設の今後の展開

町民プール・スキー場・テニスコート等

＊佐久小学校校舎と付随施設・また公共施設のスクラップと縮小の考え方（各集落の施設等）

◎町道・農道・林道の新設と維持

川口町長

公共施設は計画的で効率的な整備や維持管理を行いたい

平成28年12月「中川町公共施設等総合管理計画」を策定しており、今後現状のままで全ての公共施設を維持し続けることは困難であり、総体予算や優先順位、住民ニーズを見極め、総合的な判断の基で改修・更新を進めて参ります。

1点目の役場庁舎での業務遂行については、各室の職員が業務連携を図ることで来庁者にご不便が無いよう努めて参ります。

2点目の不要施設の処理を含め今後の予定について

旧幼児センター跡地については、公共機能としての利活用を探り、次に売却の可能性を探り、最終は取り壊しと進めて参ります。また山村開発センター跡地について堆雪状況を見極め又消防活動の妨げにならないよう検討して参ります。又地域全体の排雪場所については官民連携による効率的な排雪処理場の確保について努めて参ります。

旧幼児センターの跡地利用は

＊ポンピラ温泉の改修について

特に老朽化が著しい機械室内の優先的な改修が必要と認識

昨年の改修実施設計では、総額6億円を超える改修費が見込まれ、特に機械室内の老朽化が著しく、優先的改修が必要と認識しています。工事着手には財源確保が課題であり「公共施設等総合管理計画」を策定して協議を進めています。また議会の「地域振興経済対策特別委員会」の調査決果にも注目し最終判断をして参ります。

旧佐久小学校については、佐久及び安川三をメインフィールドとする「アベシナイエコタウン構想」の取り組みを進めており、森林・林業を核とする新たな産業創出を目指すなど施設の有効利用を検討して参ります。公共施設のスクラップと縮小については、先ずは行政利用を検討し、管理コスト・財源を検討して判断をして参ります。又集落施設は、自治会・町内会と協議の上判断いたします。

3点目の町道・農道・林道について、町道新設は道路整備計画に基づき事業推進を図り、維持管理は安全・安心に通行できるよう図って参ります。又農道は道営事業が完了すれば、町道と連携した維持管理を図って参ります。林道については、計画的な作業路の整備と維持管理に配意して参ります。

老朽化が進むポンピラアクアリズイング

山内教育長

教育委員会を別施設に移動したことによる、住民の利用意識と状況についてでありますが、平成27年度に「ちゃいむ」を開設してから施設利用者が年々増高しており、生涯学習・サークル活動は明らかに活発化の傾向にあり、文教ゾーンでの中核施設として役割が明確になり、学校教育や各団体・機関との連携が活発化してきたものと考えております。スポーツ施設の今後については、現況を踏まえ、社会教育・体育施設の維持管理について、安心・安全な維持管理と運営面でのコストパフォーマンスを高める適正管理に努めます。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を採択

内閣総理大臣他に直ちに送付

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積の約４分の１を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このような中、北海道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される森林環境譲与税（仮称）を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

１　森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

２　森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年９月20日
内閣総理大臣　他10名　宛

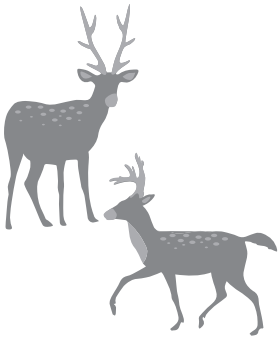
北海道中川郡中川町議会議長　佐藤　輝雄

我が町の「そば生産」・「シカ対策」に生かす

経済常任委員会所管事務調査

10月1日から3日まで、芽室町及び池田町において所管事務調査を実施しました。内容は現在中川町の畑作面積の約55％を占める「そば」の今後の課題や、畑作北限の地中川町で今後生産できる作物は何かを北海道農業研究センター芽室研究拠点で、そして当町でも関心の高い「エゾシカ」の有害鳥獣駆除及び有効活用について、先進的に進めている池田町及びエゾの杜㈱でそれぞれ調査、意見交換を行いました。

詳細につきましては委員会での議論、取りまとめの後、議会及び広報で報告したいと考えておりますが、そばの輪作体系の確立、シカの食肉利用における経営の難しさなど改めて多くの課題もあることを感じた調査となりました。



池田町エゾシカ等解体加工施設

読みやすい広報目指して

議会広報研修会に参加

平成30年8月22日、札幌市で開催された議会広報研修会に参加してまいりました。講師に芳野政明氏を迎え各町村議会が実際に発行している議会広報を基に良い点、改善点を具体的に説明され、さらには全国の議会の広報を例により分かりやすい内容でした。

今回の研修を受け、改めて町民の皆様が手に取って見やすい、読みやすい、わかりやすい広報とは何かを考え、内容についても改善していきたいと思いました。実際に、この号より紙面の一部を変えてみましたのでぜひご覧いただき、感想など賜りたいと思います。

引き続き議会がどんな活動をし、どんな議論をしているのか伝える、伝わるをモットーに広報を作成したいと思います。

議会基本条例の制定を進めています

議会基本条例制定特別委員会

住民に対する開かれた議会として、また住民との信頼関係をより一層確実なものに近づけることを目的として、様々な議会改革に取組んでまいりましたが、議会議員としての倫理観を更に明確化し、より良い議会活動を行っていくために「中川町議会基本条例」の制定を進めています。

●議会基本条例の主な特徴

1. すべての議案に対する議員の態度（賛否）を公表
2. 年1回以上の議会報告会の開催を義務化
3. 政策形成過程に関する資料の提出の努力義務
4. 議決事項の追加
5. 議員相互間の自由討議の推進
6. 議員の政治倫理を明記
7. 最高規範性と2年に1度の見直しを明記

●会基本条例制定まで経過

平成27年12月16日に第一回特別委員会を開催し、議会基本条例制定について協議し、平成28年3月25日に和寒町議会で議会基本条例制定に関する調査研究を行いました。

平成29年3月21日には、北海道町村議会議長会事務局で議会基本条例の制定と議会の活性化について調査研究を行い、同年4月27日に小委員会（プロジェクトチーム）を設置し、同年5月10日の小委員会で議会基本条例制定に向けての論点整理、会議規則・申し合わせ事項の点検、見直し、議会基本条例制定に向けたスケジュールを検討し、現在に至っています。

今後、基本条例（案）を公表し、今年度中の制定に向けて取り組んでいく予定です。

議会日誌

7月

19日 サイクルハイヤーお披露目式
21日 北海道命名150年記念天塩川親水フォーラム
22日 天塩川de水切り北海道命名150年記念大会
26日 各種期成会夏季合同要望会【東京都】
28日 北海道150年・松浦武四郎生誕200年記念式典【名寄市】

8月

2日 中川まつり（4日まで）
5日 北海道150年記念式典【札幌市】
7日 第8回議会運営委員会
〃 第12回議員全員協議会
〃 第4回臨時会
8日 第5回経済常任委員会
北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会【札幌市】
9日 西天北五町議長連絡協議会
11日 北口ゆうこう道議と語る青空の集い【士別市】
16日 納涼盆踊り大会
20日 第4高射特科群長末永吉孝様歓迎会【名寄市】
22日 議会広報研修会【札幌市】
23日 第5回地域振興経済対策特別委員会
28日 中川町自衛隊後援会総会
30日 第3回総務常任委員会

9月

2日 中川町スポーツ少年団本部創立記念剣道大会
3日 道北地方森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会総会【旭川市】
4日 4路線（宗谷線・石北線・富良野線・根室線）合同説明会【旭川市】
13日 中川町敬老会
〃 第9回議会運営委員会
15日 札幌中川会ふるさと訪問懇親会
16日 第36回なかがわ秋味まつり、第30回北海道丸太押し相撲大会
20日 第13回議員全員協議会
〃 第3回定例会
〃 第5回議会基本条例制定特別委員会
〃 第6回経済常任委員会
23日 中川中学校第71回学校祭
25日 松浦武四郎踏査記念木碑除幕式
25日 なかがわふれあい広場2018中川町社会福祉大会

10月

1日 経済常任委員会所管事務調査【芽室町、池田町】（3日まで）
4日 上川管内町村議会議長研修会【占冠村】（5日まで）
5日 決算審査特別委員会
6日 斎藤茂吉記念中川町短歌フェスティバル25周年記念フォーラム、記念交流会
10日 上川北部市町村議会議長会定例会【下川町】

編集後記

9月6日に発生した北海道胆振東地震では多くの方が被災、そしてお亡くなりになりました。謹んでお見舞い申し上げます。未だに元の生活に戻ることのできない方々が多くいらっしゃる中で、さらに台風24号の日本列島縦断と、さらなる不安と被害の拡大など近年の自然災害はとどまるところを知りません。

地震の際には全道で停電となり、その不便さは改めて電気の有難さ、重要性を感じられたのではないでしょうか。

そんな中、多くの住民の皆さんも目にされたかもしれませんが、街灯も消え家の明りもわずかだった夜、空一面に広がる星空は不安な心を少しでも和らげるものであったと思います。

人は不安や恐れを抱くと俯き、視線が下を向きます。逆に自信を持ち前向きな気持ちになると視線が上がります。いつ、このような災害がこの町でも起こるかわかりません。しかし、そんな時も顔を上げて視界を広げ、周りの方と助け合う事が必要です。そしてそれができる町であると思います。

万が一に備え、日頃からまずは一人一人ができる準備をしていきましょう。

（大記）

議会広報特別委員会
委員長　斎藤俊幸
委員　今野大樹

道産 間伐材使用　この広報紙は道産間伐材を使用しています。